

は盛町の洞雲寺で

移動わんわん広場展開

陸前高田シルバー人材センター

2014 / 1 / 11 東海新報

町の公益社（ディネーター）の会員高田シルバが、自宅など保護者の要望に合わせた場所です。「移動わんわん広場」を市内で展開し、子どもを預かり一緒に遊ぶというものです。

「移動わんわん広場」は同サービスの広報と、会員と市民の交流を図るもので、同年12月から始まった。会員が市内の仮設を回り、9日の米崎中学校仮設住宅訪問で7回目となった。

広場では、折り紙やあやとり、かるた、お手玉、布で作った魚釣りゲームなどを会員が準備。昨年12月に米崎小仮設団地集会所で開いた広場には多くの子どもたちが参加し、会員たちと和やかなひとときを過ごした。

釣りゲームで遊んだ子どもと会員たち。米崎町



村上コーディネーターは「移動広場を通して、子育ての役に立ちたい」という会員の思い

をぜひ知ってもらいたい」と期待。利用時間、利用料金など詳しい内容は同センター（TEL 54・4888）まで。

「110番」に理解

大船渡署が広報活動

大船渡警察署（内藤光樹署長）は「110番の日」の10日、大船渡市盛町のサン・リアで110番通報などに関する広報活動を行った。買い物客らにチラシを配布したり、パネルを展示し、緊急時の正しい通報手段に理解を呼びかけた。

活動はサン・リア1階のいこいの広場で行われ、会場には110番通報のシステムや交通安全、防犯について紹介したパネルを展示した。



入賞作品11点のうち、友希菜ちゃん、賞状などが手渡すお友達や三鉄隣祝福された友希菜さん（猪川保育

比赤十字社へ送金

台風被災地を支援

陸前高田市のNPO法人桜ライン311（岡本翔馬代表）は9日、フィリピン共和国の赤十字社へ募金を送金した。平成25年11月に発生した台風30号の

被害に対する支援で、今後募金活動を継続する。同法人は、昨年11月8日にフィリピン・レイテ島などを襲った大型台風による甚大な被害を受け、ただちに緊急募金活動用の口座を立ち上げ、市内11カ所の事業所や公民館、仮設住宅集会所などに募

金箱を設置したほか、小友小学校や高田高校の寄付も取りまとめ、さらに桜ライン311の活動を支援する団体などからも善意が寄せられ、9日時点で総額41万936円が集まった。同法人はこれらを送ることを決めた。

大震災からの復興の途上であり、市民の多くが生活再建を果たせていない中で寄せられた多額の募金。岡本代表（30）は協力者に感謝を示し、「同じ痛みを知る者として、小さくともアクションを起こさねば。震災後にいただいた善意を僕たちどころで止めず、次へつなげていきたい」と語った。

陸前高田市のNPO法人桜ライン311（岡本翔馬代表）は9日、フィリピン共和国の赤十字社へ募金を送金した。平成25年11月に発生した台風30号の

被害を受け、ただちに緊急募金活動用の口座を立ち上げ、市内11カ所の事業所や公民館、仮設住宅集会所などに募

金箱を設置したほか、小友小学校や高田高校の寄付も取りまとめ、さらに桜ライン311の活動を支援する団体などからも善意が寄せられ、9日時点で総額41万936円が集まった。同法人はこれらを送ることを決めた。

大震災からの復興の途上であり、市民の多くが生活再建を果たせていない中で寄せられた多額の募金。岡本代表（30）は協力者に感謝を示し、「同じ痛みを知る者として、小さくともアクションを起こさねば。震災後にいただいた善意を僕たちどころで止めず、次へつなげていきたい」と語った。



陸前高田市のNPO法人桜ライン311（岡本翔馬代表）は9日、フィリピン共和国の赤十字社へ募金を送金した。平成25年11月に発生した台風30号の

被害を受け、ただちに緊急募金活動用の口座を立ち上げ、市内11カ所の事業所や公民館、仮設住宅集会所などに募

金箱を設置したほか、小友小学校や高田高校の寄付も取りまとめ、さらに桜ライン311の活動を支援する団体などからも善意が寄せられ、9日時点で総額41万936円が集まった。同法人はこれらを送ることを決めた。

大震災からの復興の途上であり、市民の多くが生活再建を果たせていない中で寄せられた多額の募金。岡本代表（30）は協力者に感謝を示し、「同じ痛みを知る者として、小さくともアクションを起こさねば。震災後にいただいた善意を僕たちどころで止めず、次へつなげていきたい」と語った。

